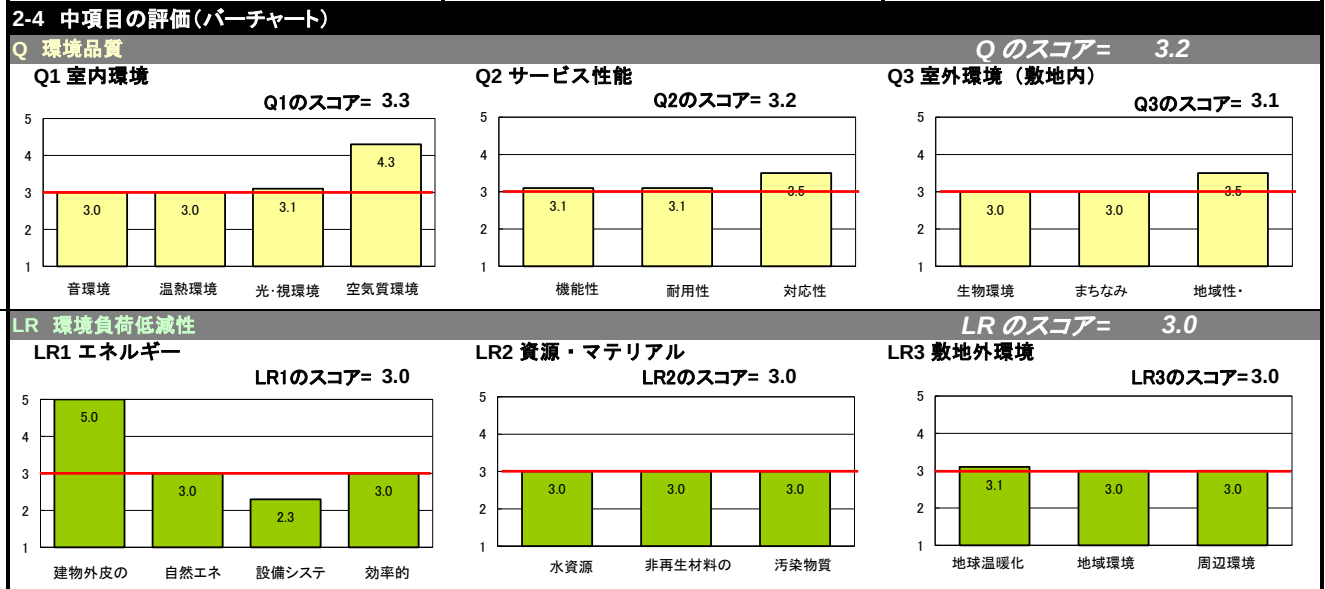
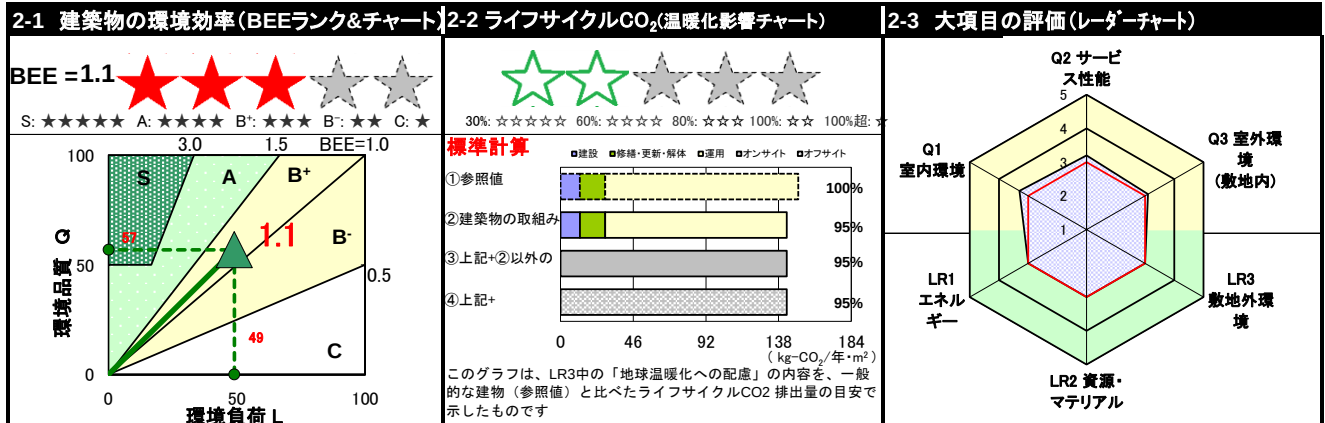


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	熊谷市子育て支援・保健拠点施設	階数	 シートの保護を解除してください	
建設地	埼玉県熊谷市石原三丁目27番の一	構造		
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	病院	評価の段階		
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日		
敷地面積	11,316 m ²	作成者		
建築面積	3,033 m ²	確認日	2024年5月17日	
延床面積	3,151 m ²	確認者	井川 博英	



3 設計上の配慮事項		
総合 「安心できる子育て環境と健やかな暮らしを支える拠点～のびのびすこやかに～」をコンセプトに、 ・子どもたちが安心して楽しく過ごせる。 ・健康づくりをサポートする。 ・子育てについて気軽に相談できる。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部分が大きく、屋光を豊富に室内に取り込めると同時に、庇とカーテンにより適度に制御可能な設計としている。	Q2 サービス性能 天井高・階高を十分に確保する設計とし、屋内においても開放感を感じ、心身の負荷軽減に寄与した設計としている。内装材や配管材料に配慮し、維持管理の負担が軽減するような設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木の保存・移植と創出により、十分な緑の量を確保している。屋外においては植栽、ビオトープをはじめとした広い屋外空間、建物内には利用者や地域の住民が交流可能な場所を提供している。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量の削減率において、省エネ基準の7%としている。	LR2 資源・マテリアル 内装材や仕上げ材等へ配慮し、部材の再使用可能性を高め、環境への負荷低減を図っている。	LR3 敷地外環境 子育て世代、子どもの利用者を念頭に、充分な量の駐輪・駐車スペースを設け、利用者がアクセスしやすい環境を整備している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	熊谷市子育て支援・保健拠点施設	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア				
3.1	+	2.6	=	5.7
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.1
卓越風向から敷地形状と建物の配置を考慮し、建物が遮った風が復帰するような設計としている。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
既存樹木の保存・移植と創出により、十分な緑の量を確保している。 屋外においては植栽、ビオトープをはじめとした広い屋外空間、建物内には利用者や地域の住民が交流可能な場所を提供している。			

: 入力欄